

平成 29 年 4 月 1 日

計算プログラム 修正点 (Ver.2.1.2 → Ver.2.2)

下記の修正を行いました。

<全体>

1. 「エネルギー消費性能計算プログラム (気候風土適用住宅版)」を公開しました。
2. 「エネルギー消費性能計算プログラム (建築物省エネ法 住宅事業建築主の判断基準)」を公開しました。

<外皮>

3. 外皮性能の評価方法に、「当該住宅の外皮面積を用いず外皮性能を評価する方法」を追加しました。

<暖冷房設備>

4. その他の居室の面積が 0 m²の場合の計算方法を修正しました。
5. ルームエアコンディショナー付温水床暖房について、断熱被覆の有無の選択肢を追加しました。
6. ルームエアコンディショナー付温水床暖房について、未処理負荷が常に 0 として評価される問題を修正しました。
7. ダクト式セントラル空調機の定格暖房能力、定格暖房消費電力、定格冷房能力、定格冷房消費電力の上限を次のように引き上げました。
 - 定格暖房能力 ・ 定格冷房能力 : (変更前) 20,000 W → (変更後) 30,000 W
 - 定格暖房消費電力・定格冷房消費電力: (変更前) 10,000 W → (変更後) 15,000 W
8. 1,2 地域において、主たる居室で「温水暖房 (パネルラジエーター、温水床暖房、ファンコンベクターのいずれか)」を選択し、さらにその他の居室で面積を 0 m²にし、「暖房設備機器または放熱器を設置しない」を選択した場合に、計算結果が 0 になる問題を修正しました。
9. 温水暖房の熱源機の未処理負荷の計算について、その他の居室が 0 m²の場合も計算できるように修正しました。

<給湯設備>

10. 電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯温水暖房機の計算用パラメータおよび機種データを評価協会から取得する処理を追加し、新しい評価方法に対応しました。
11. 電気ヒートポンプ・ガス併用型給湯温水暖房機について、住宅規模が小さい場合に計算結果がマイナスになる時刻が発生することがある問題を修正しました。
12. 給湯の計算方法を微修正しました。(居住人数による按分方式を一次エネルギー消費量の按分から給湯負荷の按分へ変更しました。)
13. 「給湯設備がない場合」を選択した場合に API 経由での PDF の取得に失敗する問題を修正しました。
14. 電気ヒーター給湯温水暖房機について、ふろ機能の種類を選択できるように修正しました。

<コージェネレーション設備>

15. 計算結果 (PDF) の出力内容に機器のパラメータを追加しました。

以 上